

介護ロボット普及モデル事業 介護ロボット実用化に向けた研修会実施要項

1 目的

介護ロボットの開発や普及、実用化に向けた動きが加速し、介護ロボットへの注目が全国的に高まっています。

そのような中、被介護者及び介護者双方にとって真に必要な福祉用具・介護ロボットの普及について、双方の立場に立って検討していく必要があります。

この研修では、介護ロボットに関する国の最新の動向、最新の介護ロボットを知るとともに、学識経験者、介護施設、行政等のそれぞれの立場からの意見を踏まえ、介護ロボット普及における現状と課題を整理、共有し、より安心・安全な介護につなげることを目的とします。

2 主催

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 青森県介護実習・普及センター (TEL : 017-774-3234)

3 場所

青森国際ホテル 3階 萬葉の間 (〒030-0801 青森県青森市新町 1-6-18)

4 日程及び内容 平成 27 年 1 月 30 日 (金)

| 時間 | 内容及び講師 |
|-------------------|--|
| 10 : 30 ~ 11 : 30 | 行政説明 「国の介護ロボットに関する施策の動向」 厚生労働省 老健局振興課 福祉用具・住宅改修指導官 介護支援専門官 東 祐二 氏 |
| 12 : 30 ~ 14 : 50 | シンポジウム テーマ「介護ロボット活用による介護の未来～課題と可能性～」 ○コーディネーター 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害工学研究部 部長 小野 栄一 氏 ○シンポジスト ・行政・公益団体の立場から： 公益財団法人テクノエイド協会企画部 部長 五島 清国 氏 厚生労働省 老健局振興課 福祉用具・住宅改修指導官 東 祐二 氏 ・学識経験者の立場から： 福祉技術研究所株式会社 代表 市川 洵 氏 ・施設の立場から： 特別養護老人ホーム緑青園 園長 成田 和博 氏 ・メーカー・販売の立場から： パナソニックプロダクションエンジニアリング株式会社 プロダクションテクノロジーセンター新規事業インキュベーショングループ アシストベッドプロジェクト プロジェクトリーダー 河上 日出生 氏 |
| 15 : 00 ~ 16 : 00 | 介護ロボットメーカー プレゼンテーション ・離床アシストベッド「リショーン」(パナソニック株式会社) ・認知症患者用非接触ベッド見守りシステム 「アウルサイト」(株式会社イデアクエスト) |
| 16 : 00 ~ 16 : 30 | ロボット自由見学・相談対応 |

5 受講料

無 料

6 対 象

高齢者介護施設等の管理者・事務局長等／介護職員・理学療法士・作業療法士・看護師・保健師等／行政職員／保健医療福祉の教育関係者及び学生 / 他一般の方

7 定 員

100人程度

8 受講申込

- (1)別紙申込書により、平成27年1月8日(木)までFAXで当センターまでお申込みください。
- (2)申込みが定員を超える場合は、原則、先着順とします。受講いただけない場合のみ、こちらから連絡させていただきます。

9 その他

- (1) 駐車スペースには限りがありますので、できる限り公共交通機関を御利用ください。
- (2) 御記入いただいた情報は、本講座運営管理の目的のみに使用させていただきます。

10 申込み・お問い合わせ先

社会福祉法人青森県社会福祉協議会 青森県介護実習・普及センター
TEL:017-774-3234 FAX:017-774-3235

～ 出展・プレゼンテーション介護ロボット ～



非接触・無拘束ベッド見守りシステム
OWLSIGHT® (アウルサイト)

平成 年 月 日

1月8日(木) 締切

介護ロボット実用化に向けた研修会
参加申込書

青森県介護実習・普及センター 宛
FAX: 017-774-3235

施設名等 _____

住 所 〒 _____

記入者名 _____

電 話 _____

F A X _____

| 所属部署 | 職 | 氏 名 | 資格等 |
|------|---|-----|-----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

【留意事項】

申込みが定員を超える場合は、原則、先着順とします。受講いただけない場合のみ、こちらから連絡させていただきます。